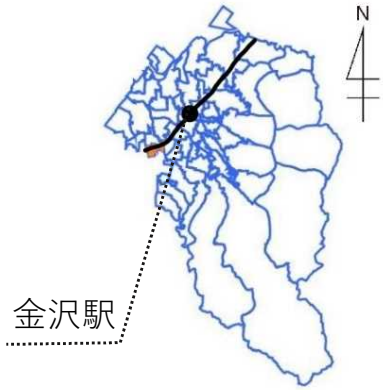


押野校区

国勢調査から見える校区のすがた

ひとめでわかる



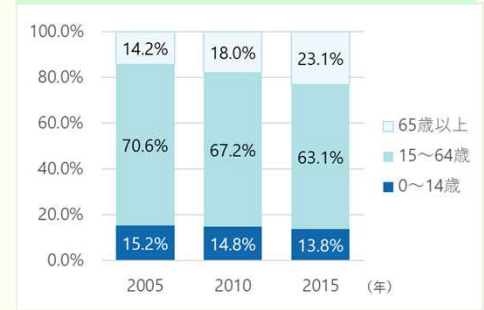
1 人口・世帯数



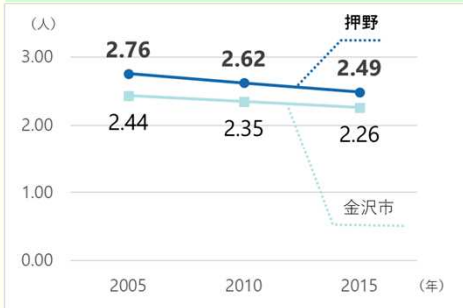
2 年齢3区分別人口



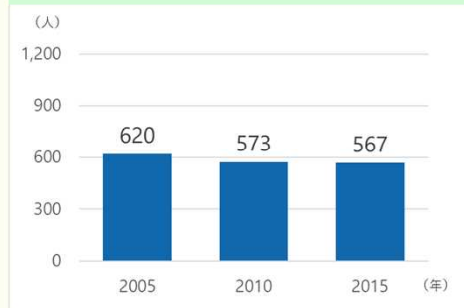
3 年齢3区分別人口割合



4 1世帯当たり人員



5 校区在住児童数[6-11歳]



6 高齢世帯数



7 住宅の建て方割合



8 家族類型



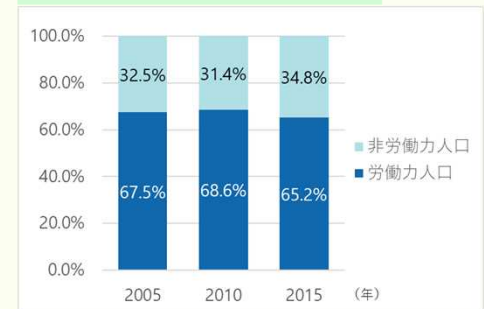
9 家族類型割合



10 労働力人口



11 労働力人口割合



準備中

※ 国から提供される2020年国勢調査の詳細結果を踏まえ、2022年8月頃に公表予定です。

I 概要 人口 9,497人 2010年に比べ+7人

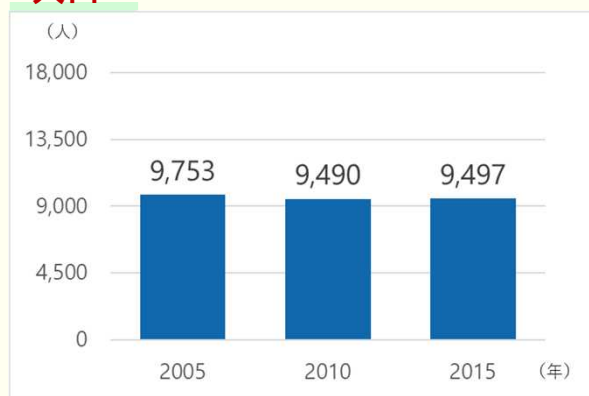
2015年国勢調査による10月1日現在の押野校区の人口は9,497人で、2010年に比べ+7人となっている。

世帯数は3,816世帯で、2010年に比べ+198世帯、1世帯当たり平均世帯人員は2.49人で、2010年に比べ▲0.13人となることから、世帯規模が縮小していることがわかる。

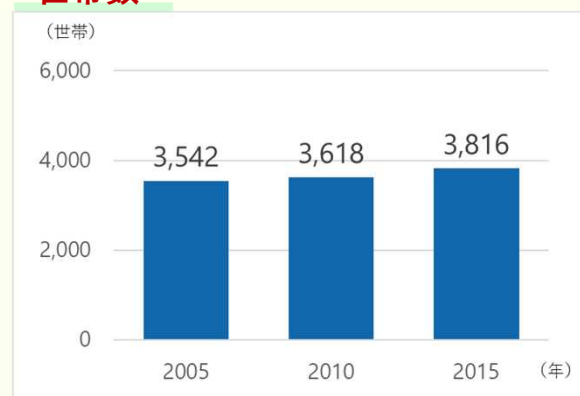
人口（男女別）及び世帯数

年	人口[人]					世帯[世帯]			
	総数	増減数	増減率	男	女	総数	増減数	増減率	1世帯当たり 平均世帯人員[人]
2005	9,753	—	—	4,724	5,029	3,542	—	—	2.75
2010	9,490	▲263	▲2.7%	4,604	4,886	3,618	76	2.1%	2.62
2015	9,497	7	0.1%	4,653	4,844	3,816	198	5.5%	2.49

人口



世帯数



2 人口 65歳以上人口が増加

年齢3区分別人口をみると、0～14歳人口は1,297人、15～64歳人口は5,924人、65歳以上人口は2,166人で、構成比はそれぞれ13.8%、63.1%、23.1%となり、2010年に比べ、人口、構成比ともに0～14歳人口と15～64歳人口は減少、65歳以上人口は増加している。2010年との比較を増減数[増減率]でみると、0～14歳人口は▲96人[▲6.9%]、15～64歳人口は▲396人[▲6.3%]、65歳以上人口は+479人[+28.4%]となっている。

また、年齢3区分別人口の構成比の推移をみると、0～14歳人口の構成比と15～64歳人口の構成比は一貫して減少し続けており、65歳以上人口の構成比は一貫して増加し続けている。

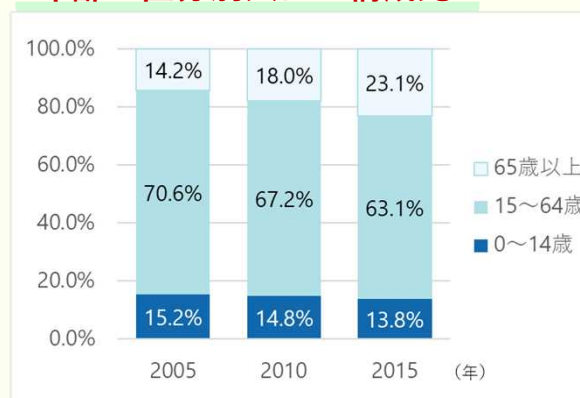
年齢3区分別人口 ※総数には年齢「不詳」を含む

年	人口[人]				構成比				増減率			
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
2005	9,753	1,478	6,882	1,381	100%	15.2%	70.6%	14.2%	—	—	—	—
2010	9,490	1,393	6,320	1,687	100%	14.8%	67.2%	18.0%	▲2.7%	▲5.8%	▲8.2%	22.2%
2015	9,497	1,297	5,924	2,166	100%	13.8%	63.1%	23.1%	0.1%	▲6.9%	▲6.3%	28.4%

年齢3区分別人口



年齢3区分別人口の構成比



3 世帯 単身者、2人世帯が増加

(1) 世帯数及び世帯人員

一般世帯数は3,815世帯で、増減率の推移をみると、2010年が+2.4%、2015年が+5.4%と一貫して増加し続けている。

世帯人員別の増減率をみると、1人世帯、2人世帯が増加している一方、3人以上の人員の世帯は減少している。

また、世帯人員別の構成比は、2人世帯が29.3%と最も大きく、次いで1人世帯が28.1%、3人世帯が19.5%となっている。

世帯人員別一般世帯数

年		総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
一般世帯数 [世帯]	2005	3,534	807	891	755	692	260	95	34
	2010	3,618	920	995	752	599	230	87	35
	2015	3,815	1,071	1,116	744	580	214	64	26
構成比	2005	100%	22.8%	25.2%	21.4%	19.6%	7.4%	2.7%	0.9%
	2010	100%	25.4%	27.5%	20.8%	16.6%	6.4%	2.4%	0.9%
	2015	100%	28.1%	29.3%	19.5%	15.2%	5.6%	1.7%	0.6%
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	2.4%	14.0%	11.7%	▲0.4%	▲13.4%	▲11.5%	▲8.4%	2.9%
	2015	5.4%	16.4%	12.2%	▲1.1%	▲3.2%	▲7.0%	▲26.4%	▲25.7%

3 世帯

(2) 世帯の家族類型

一般世帯数について、その世帯主と世帯員の続柄により家族構成を類型化（家族類型）してみると、「核家族世帯」は2,375世帯と、一般世帯の62.3%を占めており、2010年に比べ+120世帯[+5.3%]となっている。また、世帯人員が一人の「単独世帯」は1,071世帯で、2010年に比べ+151世帯[+16.4%]となっている。

世帯の家族類型別一般世帯数

年		総数	単独世帯	核家族世帯	その他の世帯
一般世帯数 [世帯]	2005	3,534	807	2,239	488
	2010	3,618	920	2,255	443
	2015	3,815	1,071	2,375	369
構成比	2005	100%	22.8%	63.4%	13.8%
	2010	100%	25.4%	62.3%	12.3%
	2015	100%	28.1%	62.3%	9.6%
増減率	2005	-	-	-	-
	2010	2.4%	14.0%	0.7%	▲9.2%
	2015	5.4%	16.4%	5.3%	▲16.7%

3 世帯

(3) 高齢世帯

一般世帯のなかで、「高齢単身世帯」は304世帯で、2010年に比べ+90世帯[+42.1%]であり、一般世帯の8.0%を占めている。また、「高齢夫婦世帯」は442世帯で、2010年に比べ+115世帯[+35.2%]であり、一般世帯の11.6%を占めている。

高齢世帯数

年	一般世帯数 [世帯]	高齢単身世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率	高齢夫婦世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率
2005	3,534	158	4.5%	—	251	7.1%	—
2010	3,618	214	5.9%	35.4%	327	9.0%	30.3%
2015	3,815	304	8.0%	42.1%	442	11.6%	35.2%

※ 高齢単身世帯は、65歳以上の一人のみの一般世帯。

高齢夫婦世帯は、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯。

4 住宅 持ち家以外に住む世帯を中心に一般世帯が増加

(1) 住宅の所有関係

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数をみると、持ち家に住む世帯の方が多く、2,717世帯[構成比72.8%]と全体の約7割を占めている。

また増減率をみると、2010年に比べ持ち家に住む世帯が+2.5%、持ち家以外に住む世帯が+11.6%となっている。

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数

年		総数	持ち家	持ち家以外
実数[世帯]	2005	3,433	2,531	902
	2010	3,559	2,650	909
	2015	3,731	2,717	1,014
構成比	2005	100%	73.7%	26.3%
	2010	100%	74.5%	25.5%
	2015	100%	72.8%	27.2%
増減率	2005	—	—	—
	2010	3.7%	4.7%	0.8%
	2015	4.8%	2.5%	11.6%

4 住宅

(2) 住宅の建て方

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別構成をみると、一戸建に住む世帯が2,761世帯と最も多く、住宅に住む一般世帯の74.0%を占めている。以下、多い順に共同住宅に住む世帯が942世帯[構成比25.2%]、その他の住宅に住む世帯が28世帯[同0.8%]となっている。

また増減数[増減率]をみると、2010年に比べ一戸建に住む世帯が+70世帯[+2.6%]、共同住宅に住む世帯が+101世帯[+12.0%]となっている。

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別世帯数

年		総数	一戸建	共同住宅	その他
住宅に住む 一般世帯数 [世帯]	2005	3,433	2,596	805	32
	2010	3,559	2,691	841	27
	2015	3,731	2,761	942	28
構成比	2005	100%	75.6%	23.4%	1.0%
	2010	100%	75.6%	23.6%	0.8%
	2015	100%	74.0%	25.2%	0.8%
増減率	2005	-	-	-	-
	2010	3.7%	3.7%	4.5%	▲15.6%
	2015	4.8%	2.6%	12.0%	3.7%

5 労働 労働力人口が減少

15歳以上人口は8,090人で、2010年に比べ+83人[+1.0%]となっている。労働力人口は5,086人で、2010年に比べ▲166人[▲3.2%]、非労働力人口は2,717人で、2010年に比べ+317人[+13.2%]となっている。労働力率は62.9%で、2010年に比べ▲2.7ポイントとなっている。

男女ともに労働力人口が減少している。

		15歳以上人口			労働力人口			非労働力人口		
年		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
人口 [人]	2005	8,263	3,987	4,276	5,432	3,051	2,381	2,617	783	1,834
	2010	8,007	3,865	4,142	5,252	2,943	2,309	2,400	756	1,644
	2015	8,090	3,917	4,173	5,086	2,784	2,302	2,717	961	1,756
増減数 [人]	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	▲256	▲122	▲134	▲180	▲108	▲72	▲217	▲27	▲190
	2015	83	52	31	▲166	▲159	▲7	317	205	112
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	▲3.1%	▲3.1%	▲3.1%	▲3.3%	▲3.5%	▲3.0%	▲8.3%	▲3.4%	▲10.4%
	2015	1.0%	1.3%	0.7%	▲3.2%	▲5.4%	▲0.3%	13.2%	27.1%	6.8%

労働力率		
総数	男	女
65.7%	76.5%	55.7%
65.6%	76.1%	55.7%
62.9%	71.1%	55.2%
-	-	-
▲0.1	▲0.4	0.1
▲2.7	▲5.1	▲0.6

※増減の単位は[ポイント]

※労働力率は四捨五入のため、増減の表記と計算結果が一致しないことがある。

※ 15歳以上人口 = 労働力人口 + 非労働力人口 + 労働力状態「不詳」の人口

労働力率 = 労働力人口 / 15歳以上人口

労働力率は、労働力として経済活動に参加している人の比率をみる指標として利用されている。